

今、高校生が考えるデジタルシティズンシップとは ーデジタルウェルビーイングな社会を目指してー

開催地: **札幌**

グループ: A 班

2023.09.16

未成年の主張

高校生が個人でできること(自分で)

◎高校生の意見をXに投稿する

→政府に見てもらい、検討してもらう。

※新しいアプリを作成し、意見を取り入れても可

◎家庭で取り組むこと

- ・親族の間でICTの使い方を説明する。
- ・自分でICTでの活動を制限する。

政府に提言したいこと

- ①ICT教育について
- ②国と企業で連携してほしいこと
- ③外交関連について

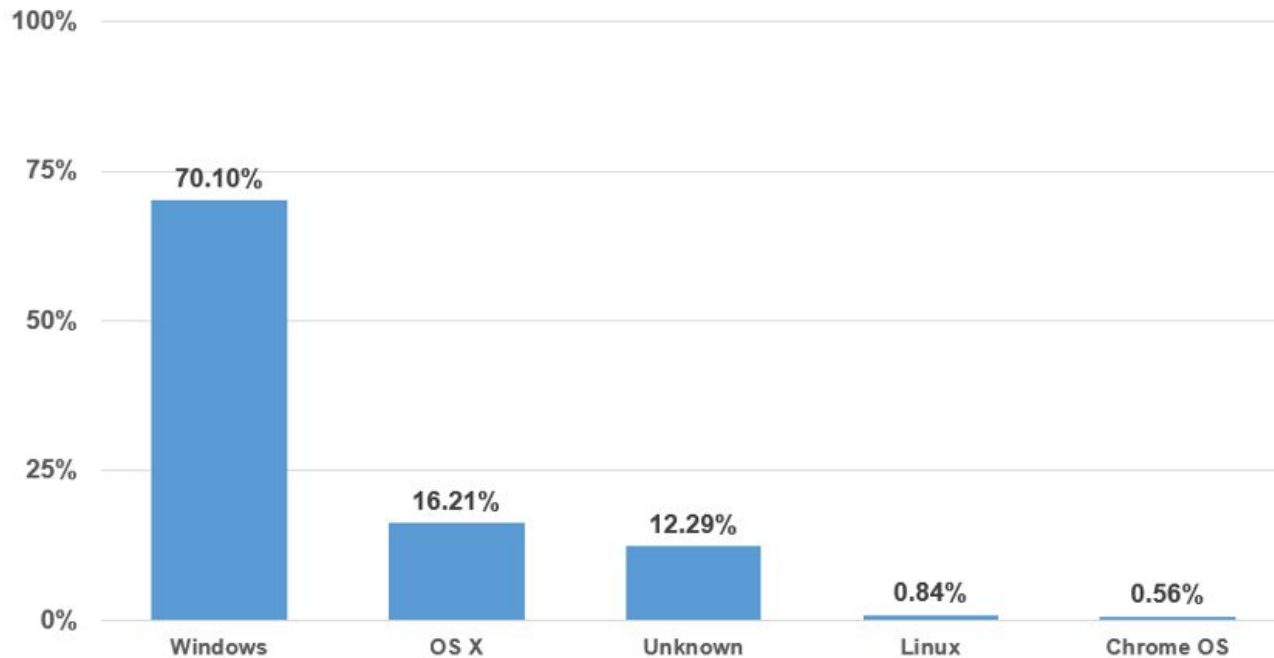
①教育について

・ChromeをWindowsに

→GIGAスクール構想についての問題点

クロームOSとWindowsの普及率を見てください

日本におけるOSシェア率(2023年8月) 【PC】



GIGAスクール構想→各家庭のパソコン格差↓DOWN

・クロームでは格差を縮めにくい

→学校のように買ったクロームとは別にWindowsパソコン
を買う生徒がいる

使いにくい

・小学校でのICT教育について

今はSNSをすでに使用している小学生もあり、小学校の義務教育で、情報リテラシーの授業を行う方が良い
→今の状況を考えると、小学校で情報教育は必要である。

②国と企業で連携してほしいこと

利用者の安心のために二者間の契約で監視役を追加することで、利用者がより安心できるようにする。

また、

それが利用者にもわかるマークで伝える。

防犯の観点から、特定のワードを使った回数だけ記録するシステムを今あるSNSに導入してほしい

→ワードごとに管理

理由 同ワードを同じ回数使用していた時にコピーの疑惑を監視できる。

国から配布されたり、指示されたクロームブックについての意見を匿名で政府に伝えられるアプリを作ってほしい。

テレグラムの規制

③外交関連について

利用地域の幅を広げる

→翻訳の言語の幅を広げてほしい



利用者の増加につながる。